

ミサイルが発射された場合の緊急対応について

羽黒高等学校

国民保護サイレン・全国瞬時警報システム（Jアラート）等により
ミサイルの発射警報があった場合 ⇒5分間以内に避難行動を完了しよう！！

◎校内活動時

●本校舎

①活動を直ちに中止し、教室の窓を施錠の上、東、西の階段（1～3階）エリアに避難する。

1LIA 1LIB 1CA 1CB 2LIA 2LIB 2PA 2PB → 東側階段エリアに避難

1CC 1CD 1E 1M 1A 2PC 2E 2M 2A → 西側階段エリアに避難

②各階防火扉をしっかり閉め、連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●秋元記念館・家庭科会館・陶芸教室・郷陵会館・文化活動棟

①活動を直ちに中止し、教室の窓を施錠の上窓から離れ、机をなるべく部屋の中心に集めてその下にもぐりこむ。

②連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●実習棟・文化活動棟

①活動を直ちに中止し、実習室、教室の窓を施錠の上窓から離れる。

②2階で活動しているものは1階に移動する。実習工場出入り口の施錠をおこなう。

③窓から離れ、机を1階実習室、教室の中心に集めてその下にもぐりこむ。

④連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●総合体育館・第一体育館・多目的体育館・柔道場・剣道場

①活動を直ちに中止し、窓、建物出入り口を施錠する。

②建物の中心に集まり、低くしゃがみ、頭を保護する。

③連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●各グラウンドエリア

①活動を直ちに中止し、第一体育館・多目的体育館に避難する。

②建物の窓、建物出入り口を施錠する。

③体育館の中心に集まり、低くしゃがみ、頭を保護する。

④連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●自動車教習所

①活動を直ちに中止し、教習所内に避難する。

②窓、建物出入り口を施錠し窓から離れ、机を教室の中心に集めてその下にもぐりこむ。

③連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

●郷友寮

- ①居室の窓の施錠をおこない、窓から離れる。(屋外にいた場合は至急寮内の居室に避難)
- ②2段ベット下段、机の下などにもぐりこむ。
- ③連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つ。

※屋外での活動中は屋内(できるだけ頑丈な建物)に避難する。窓を施錠の上、ガラス飛散や建物倒壊に備えて、窓から離れて机等の下にもぐりこむ。連絡があるまでその場に留まり、避難解除を待つこと。

避難する建物が無く屋外に留まらなければならない場合、口と鼻をハンカチ等で覆い、地面に伏せ頭部を守る体制をとること。

◎登校・下校時

●スクールバス乗車時

- ①直ちにスクールバスを安全な場所に停車する。(スクールバス運転手)
- ②状況が確認されるまでスクールバス内で待機する。
- ③全国瞬時警報システム(Jアラート)等での情報により、スクールバス運転手の指示のもと下記の行動をとること。
 - ④安全が確認され、スクールバス運行により登校する。
 - ⑤スクールバス駐車場所付近の危険情報があった場合、バスから降車し付近の建物等に避難をおこなう。
避難する建物が無く屋外に留まらなければならない場合、口と鼻をハンカチ等で覆い、地面に伏せ頭部を守る体制をとること。
- ◎登校することが危険と判断される場合や、臨時休校が決まった場合、運行ルートを引き返しながら生徒は降車、帰宅する。

●徒歩、自転車の場合

- ①付近の公共の建物へ避難する。(公共の建物：学校 市役所 庁舎 駅舎 公民館等)
- ②窓から離れる。頑丈な物の下にもぐりこむなど、安全確保の行動をとる。
- ③避難する建物が無く屋外に留まらなければならない場合、口と鼻をハンカチ等で覆い、地面に伏せ頭部を守る体制をとる。(至急の場合、事情を説明し民間の建物などにも避難を申し出ること)

●公共交通機関乗車時

- ①運転士、運行責任者の指示に従い、安全確保、避難の行動をおこなうこと。

※臨時休校⇒当日の午前6時まで本校HPインフォメーション、「緊急のお知らせ」の表題にて通知する。前日に想定された場合は前日に通知する場合もある。

尚、HP閲覧環境のない生徒には事前調査の上連絡方法を確認し、担任から通知をおこなう。

以上